

WB.

2017-02 No. 72



#2016年夏合宿の映画撮影 #ロケ地:愛媛県 #広島 #カテンコ



#2016年夏合宿の映画撮影 #part2 #雰囲気の良い吉良家



自主制作映画研究会 @eiken_11

学部を問わず映画が好きなが集まり、映画制作に励んでいます。

脚本を書く、演じる、撮影する、編集する、など役割が分かれているため、自分に適した仕事を見つけることができます。また、映画だけでなくミュージックビデオや上映会でのアイキャッチなど作品もさまざまです。制作した映画は年に3回、大学で上映会を行い公開しています。

制作から公開まで全ての過程を部員が計画して行うため、多くの経験を積むことができる研究会です。

ハンドボール同好会 AMIGO @HCU_handball

こんにちは、ハンドボール同好会の「AMIGO」です。現在女子を含め、プレーヤー 30 人で活動しています。活動日は水曜日の 15 時～17 時、日曜日の 13 時～16 時です！

ほぼ全員が初心者なので、経験者が1から丁寧に教えてくれます。女子も人数は少ないですが楽しくやっています！

ほとんどが今1年生ですが、新入生の方、上級生の方もぜひ見学、体験してみてください！！



#集合写真 #できたてのサークル #handball



#練習風景 #運動場 #ジャンプシュート #practice

CREATIVE @hcu_creative

わがクラブ「CREATIVE」は、広島市立大学開学当初からある由緒正しき創作サークルです。

おのおのが行いたい創作活動を部員全員が助け合って行うので、一人でするには厳しい作業だったものの！

現在「CREATIVE」には絵、ゲーム、音楽、手芸、模型を創作する環境が整っています。ここには記載していない創作活動でも部員に相談をすれば、部費でその活動を支援することが可能です。

私たち「CREATIVE」の部員と一緒に新たな創作環境をつくり出すのはその君だ！



#CREATIVEが企画した「DJ night」 #展示ブースの前で自作マスクをつけた部員 #パリティ #大学の祭 #怖いのはマスクだけ #多分

ねっこ広島 @necco_hiroshima

「ねっこ広島」は 2001 年に結成された地域密着のボランティアクラブです。活動テーマは「環境」と「子供の体験学習のサポート」です。

1つ目の「環境」としては、フラワーフェスティバル会場内のごみ拾い推進活動、こみゼロ・クリーンウォークの運営・補助などを通して地域の環境を保護する活動のお手伝いを行っています。

2つ目の「子供の体験学習」としては、自然体験学習「おくはた分校」のお手伝い、公民館で行われる子供を対象とした料理教室の企画やサポートなどを行っています。



#公民館でのバウムクーヘンづくり #くるくる #baumkuchen #sweets



#おくはた分校での山盛り #自然 #山 #体験学習 #サポート



特集

広島市立大学 クラブ・サークル紹介

@W.B.no.72

広島市安佐南区大塚東三丁目4-1

<http://www.hiroshima-cu.ac.jp>

6月14日

広島市立大学 クラブ・サークル紹介

広島市立大学では、学部学生の半数以上が大学公認のクラブ・サークルに所属しています。

活動内容は多種多様で、定番のクラブ・サークルに加えて、ボランティア活動、平和活動、そして創作活動など、ユニークな活動を行う団体があります。

自分の可能性を広げるとともに、学部・学年・学内外などの枠を超えて、新たな「つながり」をつくりましょう！

ここでは、「おすすめクラブ・サークル」を紹介します。

#広島市立大学 #クラブ #サークル #全部で54団体 #2017年8月1日時点

おすすめユーザー

広島市立大学附属図書館 @HiroshimaCU_lib

広島市立大学附属図書館の Twitter のアカウントです。広島市立大学附属図書館や関連のニュースを発信していきます。



市大に入学したい!という夢を実現した先輩たちから受験生の皆さんへ、自らの体験をもとに、受験勉強での心構えや応援メッセージなどを書いてもらいました。ぜひ、参考してみてください。

市大を志望する皆さんへ ~在学生からのメッセージ~



乗り越えるために

国際学部国際学科1年 水島 祥子

広島市立大学に入学すると、原爆の悲惨さを一番理解しているヒロシマで平和について学ぶことができます。ここで学ぶことは国際社会での活躍を目指す人にとって、とても意義のあることです。さらに、国際学部では、国際政治・NPO・多文化共生など幅広い分野を学ぶことができます。受験勉強において、多くの人が大きな壁にぶつかると思います。私も模試の結果を見るたびに落ち込んでいました。それでも私は志望校を諦めることだけにはしないでおこうと思っていました。その理由は、大学でしたいことが明確にあったからです。つらい受験勉強を乗り越えるには、大学で何をしたいかという具体的なイメージを持って、モチベーションを上げていくことが大切です。広島市立大学国際学部では上記以外にも留学を含め、書ききれないほど多くのことを学び、生かすことができます。また、課外活動でも、私は野球部に選手として入部し、充実した日々を過ごしています。自分自身の目標・夢を見つけ、その達成に向けて頑張ってください。応援しています！



成長し続けられるように

情報科学部1年 上見 アンディ

皆さん、「情報科学」と聞いて何を思い浮かべますか?いまいちピンとこない人もいるでしょう。まさにその通りで、情報科学の中にはさまざまな分野があります。そこにはあなたの好きなことと結びつくことがあるはずです。また、情報科学部では、「IoT時代」を最先端で生き抜くために必要なスキル・知識が身に付きます。そして、国際・情報・芸術の授業を履修することができ、自分の視野を広げることができます。特に、active learningで行われる英語教育は将来に生きる学習だと実感しています。勉強だけではなくクラブ・サークル活動も活発で、最高の仲間と出会うことができます。私は野球部に所属しています。あの市大の輪に入り、かけがえのない大学生活と一緒に送りましょう。受験生の皆さん、まず健康に気を付けてください。次に誠実にいてください。そして精進してください。最後に感謝してください。勉強をする上で大切なことは「明確な目標設定」です。1週間くらいをめぐりに「何ができたようになったのか、これから何をしないといけないのか」ということを意識してやっていると、確実に力は付いてきます。絶対に最後まで諦めないでください。



刺激し合う環境へ

芸術学部デザイン工芸学科1年 平田 早将

皆さんは、自分が大学に入った後どんなことをしたいか、考えていますか?目標や夢をしっかりと持っているでしょうか。将来のビジョンがある人の作品からは、力のようなものを感じます。受験の作品も、大学での制作も同じです。「自分はこんな表現が好き」「将来こんな仕事をしたい」という思いを形にしようとして制作された作品からは、その分制作者の熱を感じますし、伝わってくるものも大きいです。何より自分のためになります。過去問で傾向をつかむことも大切ですが、自分自身の表現を磨いていくことも大切です。受験の技術は、描いた分必ず伸びます。どうか頑張ってください。広島市立大学は比較的新しい大学なので、必要な設備が十分整っています。また、国際学部や情報科学部といった、他の美大や芸大にはない学部があります。自分の場合、音楽が好きで Music Art Club (軽音楽部) に入ることが、表現の幅を広げたり、他学部の人たちと交流したりする良い機会になっています。このように、さまざまな形で、お互いに刺激し合いながら、充実した日々を過ごしています。皆さんも、ぜひ広島市立大学に来てください。

2016年度 芸術学部美術学科日本画専攻 卒業
 明壁 美幸
 「きみにみるもの」(日本画)
 (F150号・紙本彩色)
 2016年度 卒業制作
 卒業制作優秀作品、芸術資料館買上作品



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
 Hiroshima City University

丁寧に
 一人ひとりを大事に
 社会との関わりの中で
 学生を育てます

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
 TEL:082-830-1500(代) FAX:082-830-1656
<http://www.hiroshima-cu.ac.jp>



活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外のさまざまな分野で活躍する「市大人」を紹介します。

留学して気が付いた、広島を意識している自分

株式会社ヒロテック 亀本 知可子さん(国際学部国際学科2015年度卒業)

亀本さんは、国際学部を卒業後、株式会社ヒロテック(以下「ヒロテック」)に勤務しています。本学の授業「キャリアデザイン」(※1)で、卒業生として後輩たちに現在の仕事や学生時代のことなどについて話をすることを依頼され来学した亀本さん。授業後、あらためてインタビューを行いました。

一広島市立大学国際学部を志望した理由を教えてください。



学生から質問を受ける亀本さん

高校生の頃、途上国の開発に関心があり、貧困や環境などの国際問題について学びたいと考えていました。また、「留学したい」と思っていたので、お金のことを考えて実家から通る国公立の大学で、自分が学びたいことが学べる、ということから広島市立大学国際学部を選びました。

一大学時代にはどのようなことを学びましたか?

途上国の開発について学んでいくうちに、課題を解決するには、経済や政治、そして文化のことも学んでいく必要があると考えるようになりました。国際学部では、さまざまな分野の学問を学べるため、広い視野を持って課題について考えることができるようになったと思います。講義の中で学んだ「BOP」(※2)ビジネスに興味を持ち、多国籍企業を専門とするゼミに入ったのですが、国際ビジネスについてはもちろんのこと、まちおこしのプロジェクト(※3)でアンケート調査を行うなど、幅広く学ぶことができました。

一在学中にイギリスとフランスに留学したそうですね。イギリスでは、ホームステイをされていて、日本とイギリスのライフスタイルの違いや文化の違いを感じました。特に、イギリスの人たちの家族との時間の過ごし方にはとても影響を受けました。もちろん日本でも家族を大切にしていると思いますが、イギリスでは仕事よりも家族と過ごす時間を大切にしている文化があるように思います。留学中は家族と離れて過ごしている分、家族の大切さをあらためて感じました。このような文化に触れ、自分自身も家族との時間を大切にしようと思いました。また、留学は、自分を振り返る良い機会になり、いかに今の自分の環境が恵まれているかというのをあらためて感じました。海外で過ごし、視野が広がりましたが、その反面、自分を見つめ直す時間も多く、今の自分を振り返りあげてくれた広島という土地を強く意識するようになりました。留学中もマツダの車などを見かけるとうれしい気持ちになりましたし、広島血が流れているなど(笑)。

一大学での学びが今の仕事につながっていると感じるのどのような時ですか?

海外の方とコミュニケーションを取る場面があります。現在、アメリカから出向して日本で働いている社員をサポートしているのですが、日本人同士であれば「あうんの呼吸」で口に出さなくても事足りるような事柄でも、きちんとはっきり説明しなければ分かってもらえないということがあります。例えば、日本人同士のコミュニケーションで「また連絡するね」や「行けたら行く」という言葉がよく出てくると思うんですが、日本人同士であれば、社交辞令や遠まわしに断っているのが察することができて、アメリカの方には「なぜ?」「どっちなの?」と聞かれてしまいます。学生時代に受講していた「Cross-cultural Language and Communication」という講義の中で、国によってハイコンテクストな文化とローコンテクストな文化があるということを知りました。簡単に言うと、あいまいな表現を好むか、直接的な表現を好むかの違いですが、日本はハイコンテクスト、アメリカはローコンテクストな文化に分類されます。先ほどお話しした例はまさにこの文化の違いを表しているな、と実感しました。学生時代にこの文化の違いについて学んでいたの、実際にこの違いに遭

遇したときも驚かず対応することができました。もちろん、言語は重要ですが、それだけでなく各国の「文化の相違」を念頭に置いておくことで、コミュニケーションを円滑に進めることができる身をもって実感しました。アメリカだけでなく、他の国の方とコミュニケーションを取るときも同様だと思います。他国の方と関わる時には、この講義のことを思い出してコミュニケーションを取ることを心がけています。

一ヒロテックを選んだ理由は?

就職活動では、自分がどのような人生を送りたいかという点に焦点を当てて活動を行いました。先ほどお話ししましたが、留学中に家族の大切さや、広島の良さにあらためて気が付き、広島で就職しようと決めました。また、ものづくりに関心があり、海外でも働いてみたいという気持ちがあったので、広島の国際的なものづくり企業であるヒロテックを選びました。説明会での人事の方の対応や、面接の時の面接官の方々の雰囲気とても良かったので、「ここだったら自分に合うな」と直感したことも理由の1つです。

一会社での仕事のやりがいについて教えてください。総務部で働いているのですが、社員サービスが1番重要なので、社員の方々に「ありがとう」と言ってもらえたりはうれしいです。実際に目に見えて利益を生み出す部門ではありませんが、製造・設計・営業などの現場を陰で支えているというところにやりがいを感じています。また、海外のグループ会社と、年に2回ほど集まってミーティングを行うのですが、そのときに通訳をさせていただきました。難しい役割でしたが、多くの社員の方々に「よく頑張ったね」「助かったよ」と言ってもらえて、少しは会社に貢献できたかなと思います。

一最後に、後輩たちへのメッセージをお願いします。「現在(いま)」を大切にしてください。何か始めるのに、遅すぎるということはないと常々思っていますが、やはり、社会人になると、時間に限りがあったり、守るものが多くなったりして、学生のときより思い切って一歩踏み出すのが難しくなってしまうように感じています。学生のうちは、比較的自由な時間も多ですし、何か始めるには良い時期だと思います。将来のことを考えて、不安になることもありますが、少しでも興味があることには、「今がチャンス」と思って、何でも取り組んでみてください。いろいろなことを経験して、可能性を広げてほしいです。また、学生時代の出会いは一生の宝物です。学生時代に会う人々から受ける影響はとても大きいと思いますし、私自身、社会人になってからも学生時代の先生や友人にたくさん助けられています。いろいろな場所から足を運び、さまざまな人に出会い、素敵な経験をして、その縁を大切にしてください。

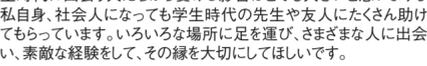


社屋前にて

(※1) 本学の2年生以上を対象としたキャリア形成・実践科目。講義のほか、ライフプランについて話し合うグループワーク等を行う。今回は、「先輩の話を聞く」という授業で、国際学部・情報学部・芸術学部の各学部から1名、計3名の卒業生が招かれた。

(※2) BOPは「Base of the Economic Pyramid」の略。

(※3) 2014年、島根県美郷町の住民と本学の学生が、ポポーという果物を使ってジェラートをつくり、まちおこしに取り組んだ活動。



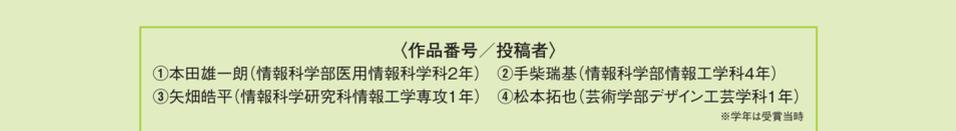
亀本知可子(かめもと・ちかこ)
広島市立大学国際学部国際学科2015年度卒業。
株式会社ヒロテック 総務部総務課 勤務

株式会社ヒロテックウェブサイト
http://www.hirotecc.co.jp/



写真でみる市大ライフ

本学では、画像の投稿を通じ本学の魅力を再発見することを目的として、学生および教職員向けに「画像投稿サイト」(学内限定)を開設しています。また、このサイトに投稿された作品の中から、募集テーマごとに最優秀賞および優秀賞を決定しています。第6回となる今回は、「市大私のお気に入り」をテーマに写真を募集しました。多数の応募があり、企画・広報委員会委員長および副委員長による選考の結果、次の通り各賞を決定しました。これらの優秀作品を、ぜひ「市大ライフ」の参考にしてください。



※学年は受賞当時

「いちだい」の留学プログラム

広島市立大学では、学生の興味・関心や目的意識などに応じて、次の3つの留学プログラムを提供しています。

- 海外交流プログラム
海外での学生交流や文化体験など
- 短期語学研修プログラム
海外大学での語学を中心にした研修
- 海外学術交流協定大学への学生派遣
半年または1年間の長期留学

今回は、「異文化を体験したい」「海外の学生と交流したい」「自分の語学力を試してみたい」といった学生を対象に実施している「海外交流プログラム」を紹介します。

【海外交流プログラム】～最高の予行演習～
<概要>

海外の大学を訪問して学生と交流することや、現地の日系企業訪問、ホームステイ体験などを通じて、国際理解を深め、語学力やコミュニケーション能力の

重要性を認識する機会を提供するプログラムです。夏休みや春休みの長期休暇中に実施します(9日～10日間)。語学力は問わず、留学未経験者を歓迎します。なお、本学から助成金を支給する制度もあります。

2016年度は、シンガポール、アメリカ(サンフランシスコ)、マレーシア(ペナン)でのプログラムを実施し、合計28名が参加しました。

<参加者の感想から>

*個人旅行では体験できない貴重な経験をさせてもらい、参加して良かったと思っている。

*人々の仕事への考え方、貧富の差、宗教、どれも日本とは違っており、多くのことを考えさせられた。

*訪問先大学の学生たちは積極的に関わりを持ってくれた。スポーツやゲームなど楽しくコミュニケーションを取ることができた。

*最も貴重な体験になったのはホームステイだった。会話が全部英語というのは新鮮で、自分の語学力不足も痛感した。これからは単に勉強するだけでなく実用的な語学力を付けていきたい。

国際学生寮

広島市立大学国際学生寮「さくら」新設

2018年4月に、大学の国際化およびグローバル人材育成施策の一環として、日本人学生と外国人留学生在が共同生活を行う国際学生寮(名称「さくら」)を新設します。入寮対象者については、広島市内・市外在住に関わらず、広く募集します。

- 1 人材育成コンセプト
国籍の枠を超えた寮生が共同生活を行うことで、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受入れ共感する力に優れたタフな人材を育成します。

- 2 施設概要
構造:鉄筋コンクリート造6階建
定員:116人(長期滞在者96人、短期滞在者20人)
主な諸室:以下の通り

- 日本人学生3人・外国人留学生在3人を基本に、計6人で1つのユニットを構成する「長期滞在用ユニット」を整備。

- 「外国語集中特講」や短期宿泊プログラムの実施、海外学術交流協定大学等からの受け入れなどが可能な「短期滞在用ユニット」を整備。

- 講演会や各種会議の実施、自習室やミーティングルームとしての利用、地域性良や小・中学生等との交流などに活用できる「大集会室」を整備。

- 日本文化の体験交流(茶道・書道など)などに活用できる「和室」を整備。

- 3 学生役職者
国際学生寮に居住する寮生が、安心・快適で自立的に生活を送ることができるよう、先輩学生として生活指導や風紀指導等、さまざまな面でリーダーシップを取り、寮生をサポートする学生役職者を設置します。



おめでとうございます

■芸術学研究所の学生らが「月刊美術デビュー」に入選
2016年12月、芸術学研究所(博士後期課程)総合造形芸術専攻2年の佐藤麗生さんと芸術学部美術学科卒業生の廣岡元紀さんが入選。

■情報科学部の学生らが「第7回ユニーク自作チップ・コンテストinひびき」で受賞
2017年1月、情報科学部情報工学科3年の寺本圭吾さん、4年の山下裕司さん、能勢陽平さん、三宅雄介さんと、情報科学研究所(博士前期課程)情報工学専攻2年の奥田涼さんが「審査委員奨励賞」を受賞。

■情報科学研究所の教員らが「平成28年度日本機械学会中国四国支部賞」で受賞
2017年3月、情報科学研究所の岩城敏教授、小作敏晴助教、情報科学研究所(博士前期課程)システム工学専攻1年の土橋直晃さんが「技術創造賞」を受賞。

■芸術学部の教員らが「第72回春の院展」で受賞
2017年3月、芸術学部の前田力准教授が「外務大臣賞・奨励賞」を受賞、山浦めぐみ助教が「奨励賞」を受賞。また、芸術学研究所(博士前期課程)2年の遠望水貴さんおよび本学卒業生らが多数入選。

■国際学部の学生たちが「びっくり広島」で受賞
2017年3月、「若者ビジネスコンテスト2016 Business Creation! Hiroshima(通称「びっくり広島」)」で、国際学部3年の角田大河さんと同2年の井上大輝さんのペアが「最優秀賞」を受賞。

■情報科学部の学生が「Laval Virtual ReVolution 2017」に採択されました
2017年3月、情報科学部4年の山本智之さんが国際公募デモセッションに採択されました。

■情報科学研究所古川准教授が「WACV2017」で受賞
2017年3月、情報科学研究所の古川亮准教授が「論文賞」を受賞。

■情報科学研究所田村准教授が「ICDMA2017」で受賞
2017年5月、情報科学研究所の田村慶一准教授が「最優秀論文賞」を受賞。

■情報科学研究所の学生らが「ICCS2017」で受賞
2017年5月、情報科学研究所(博士前期課程)知能工学専攻1年の堀部智也さん、情報科学研究所の内田智之准教授、鈴木祐介助教、宮原浩准教授が「最優秀論文賞」を受賞。

■芸術学部の学生らが「第5回新泉展」で受賞
2017年6月、芸術学部デザイン工芸学科4年の松本千里さんが優秀賞、芸術学研究所(博士後期課程)総合造形芸術専攻1年の久保田寛子さんが奨励賞を受賞、同研究所(博士前期課程)造形芸術専攻1年の上岡由季さんが入選。また、卒業生らが多数受賞。

■芸術学研究所の学生が「公益財団法人佐藤国際文化教育英財団第27期奨学生」に選ばれました
2017年6月、芸術学研究所(博士後期課程)総合造形芸術専攻3年の佐藤麗生さんが「公益財団法人佐藤国際文化教育英財団第27期奨学生」に選ばれました。

※学年は受賞当時

後期(10月1日～3月31日)	
10月2日(月)	後期授業開始
10月2日(月)～13日(金)	後期履修手続期間
10月9日(月・体育の日)	月曜日の授業実施
10月28日(土)・29日(日)	大学祭
11月8日(水)	防火・防災訓練の日
12月23日(土)～1月3日(水)	冬季休業
1月12日(金)	開学記念日の振替日(授業は実施しない)
1月30日(火)・31日(水)・2月1日(木)	後期補講日
2月5日(月)～15日(木)	後期定期試験
2月16日(金)～3月31日(土)	学年末休業
3月23日(金)	卒業式

市大ニュース

■第17回西風新都駅伝大会を開催
2017年3月、本学構内および周辺で開催。さまざまな地域・世代から、今年には54チーム、302選手が参加しました。なお、本学トライアスロン部が中心となって毎年企画・運営しています。

■「市大キャンパスウォーキング」を実施
2017年4月、全学部の新入生を対象に実施。新入生が学生生活を円滑に始められるように、毎年開催しています。

■米国総領事館インターンシップ参加報告会を実施
2017年4月、春休みに在日米国総領事館(大阪府)でのインターンシップに参加した中村梨華さん(国際学部国際学科3年)が参加報告会を開催しました。

■平成28年度「いちだい知のトライアスロン」コメント大賞が決定
2017年4月、芸術学部デザイン工芸学科2年の田中優菜さんと同美術学科4年の山田瞳子さんが大賞を受賞しました。

■「マツダ・広島市立大学芸術学部共創ゼミ」を開校
2017年4月、芸術学部は、マツダ株式会社との協働により、新たなモノづくりと新たな時代を形成し得る人材を育成し、広島が世界に誇れるモノづくりを輩出する地となることを目指し、新たに共創ゼミを開校しました。

■留学ガイダンスと留学生歓迎・交流会を開催
2017年4月、学生会館で開催。100名を超える留学生や日本人学生、そして教職員が集まり交流を深めました。

■新入生がサンフレッチェ広島島の試合を合同観戦
2017年5月、3学部の新入生が、エディオンスタジアム広島で行われたサンフレッチェ広島VSサガン鳥籠戦を合同で観戦しました。

■JR宮島口駅のデジタルサイネージで動画を放映
2017年5月から、JR宮島口駅構内のデジタルサイネージで本学の動画を放映しています。なお、広島駅南口地下広場の大型ビジョンでも、大学紹介ビデオ(ショートバージョン)を放映しています。

■ハノーバー専科大学学長一行が来学
2017年5月、本学最初の学術交流協定大学であるハノーバー専科大学の学長一行が、協定締結20周年を節目に来学し、記念行事を行いました。

■本学学生らが「ごみゼロ・クリーンワーク」に参加
2017年6月、広島市内で「ごみゼロ・クリーンワーク」が実施されました。本学からは学生427人が参加し、ゴールの旧市民球場跡地まで歩きながら道端の清掃を行いました。

■学生表彰授賞式を実施
2017年6月、2016年度学長奨励賞を受賞した古川千夏さん[芸術学研究所(博士前期課程)造形芸術専攻2年]の授賞式を行いました。古川さんは、「第16回アート・ミューズ・アーキテクチャー・コンペティション」で最優秀賞を受賞したほか、多数の公募展で受賞した功績が認められました。

■2017年度特待生が決定
2017年6月、学部2～4年生の各年次から、国際学部3名、情報科学部5名、芸術学部2名、計30名の学生が選ばれました。特待生制度では、成績優秀で、かつ他の学生の模範となる学生を表彰。副賞として奨学金が贈られます。

■国際学生寮と既存学生寮の名称が決定
2017年6月、本学学生・教職員を対象に、国際学生寮(2018年4月開設)と既存学生寮について名称募集を行い、国際学生寮を「さくら」、既存学生寮を「もみじ」という名称に決定しました。

■ライブキャンパス2017開催
10月9日(月・祝)に、「ライブキャンパス2017」を開催します。「素顔のいちだい」をテーマとして、「広島市立大学の授業ってどんな授業だろう」と思っている高校生および保護者を主な対象として、広島市立大学の通常授業を体験してもらいます。

お問い合わせ先:広島市立大学事務局企画室入室試グループ(電話082-830-1503 E-mail:nyushi@office.hiroshima-cu.ac.jp)

※学年は受賞当時

2017年度 学年暦(後期)	
10月2日(月)	後期授業開始
10月2日(月)～13日(金)	後期履修手続期間
10月9日(月・体育の日)	月曜日の授業実施
10月28日(土)・29日(日)	大学祭
11月8日(水)	防火・防災訓練の日
12月23日(土)～1月3日(水)	冬季休業
1月12日(金)	開学記念日の振替日(授業は実施しない)
1月30日(火)・31日(水)・2月1日(木)	後期補講日
2月5日(月)～15日(木)	後期定期試験
2月16日(金)～3月31日(土)	学年末休業
3月23日(金)	卒業式

「WEST BREEZE」へのご意見・ご感想を募集します

広島市立大学 企画・広報委員会
○E-mail:kikaku@office.hiroshima-cu.ac.jp
○Tel:082-830-1666 ○Fax:082-830-1656

「WEST BREEZE」のバックナンバーは、大学ウェブサイト「大学紹介」>[大学広報]>「広報誌」WEST BREEZE」に掲載しています。

広島市立大学 企画・広報委員会
発行日:2017年8月1日